

児童館・児童クラブの 安全管理について

令和5年10月27日
こども若者局

児童館・児童クラブの安全管理について

1. 仙台市における児童館・児童クラブの安全管理
2. 児童館・児童クラブの安全管理における課題
3. 児童館・児童クラブの安全管理に係る方針案

中長期を見据えた基本方針について

児童の生活の場・遊び場の環境改善

子どもの視点に立ち、子どもが安全安心に心身ともに健やかに育つことのできる環境を計画的に整える。

1. 仙台市における児童館・児童クラブの安全管理

「児童館」の安全管理に関する規程 (仙台市児童福祉法の施行に関する条例)

- 非常災害に対する具体的計画を立て、不断の注意と訓練をするよう努めなければならない。避難及び消火に対する訓練は、少なくとも毎月1回は行わなければならない。
- 児童の安全の確保を図るため、安全計画を策定し、計画に従い必要な措置を講じなければならない。(別紙参考資料1 参照)
- 職員は、児童に対し、虐待その他児童の心身に有害な影響を与える行為をしてはならない。
- 児童厚生施設の長は、必要に応じ児童の健康及び行動につき、その保護者に連絡しなければならない。

1. 仙台市における児童館・児童クラブの安全管理

「児童クラブ」の安全管理に関する規程

(仙台市放課後児童健全育成事業及び家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例)

- ・非常災害に対する具体的計画を立て、不断の注意と訓練をするよう努めなければならない。避難及び消火に対する訓練は、定期的に（少なくとも年2回以上は）行わなければならない。
- ・利用者の安全の確保を図るため、安全計画を策定し、計画に従い必要な措置を講じなければならない。（別紙参考資料1 参照）
- ・職員は、利用者に対し、虐待その他利用者の心身に有害な影響を与える行為をしてはならない。
- ・事業者は、事故が発生した場合は、速やかに、市町村、保護者等に連絡を行うとともに、必要な措置を講じなければならない。

1. 仙台市における児童館・児童クラブの安全管理

本市児童館・児童クラブにおける取組

(1) 衛生管理

- ・感染症対応マニュアルを作成したり、手洗いやうがい、消毒等の予防策を実施。
- ・応急処置のための医薬品を用意し、活動前に点検。

(2) 事故やケガの防止と対応

- ・事故防止マニュアルを作成したり、チェック表を用いた定期的な安全点検等を実施。
- ・暑さ指数に関する表を遊戯室に貼り、指数に応じた熱中症予防を実施。
- ・医療機関の受診が必要な事故が発生した場合、児童館より市に事故報告書を提出。

1. 仙台市における児童館・児童クラブの安全管理

本市児童館・児童クラブにおける取組

(3) 防災及び防犯対策

- ・ 防災、防犯マニュアル等の策定、緊急時連絡体制の確認。
- ・ 市の「災害時における児童館の開館・休館の基準」に従い、災害（地震・津波、風水害、原子力等）の状況に応じて、開館・休館を判断、避難や休館連絡等必要な対応の実施。
- ・ 児童館では月1回以上、児童クラブでは年2回以上訓練を実施
- ・ チェック表を用いた活動場所の点検や、活動中の職員の適切な配置、巡回の徹底による不審者や不審物等の早期発見

(4) 来所及び帰宅時の安全確保

- ・ 学校や警察、道路管理者等と連携し、通学路合同点検を実施し、危険箇所の把握や改善を実施。

2. 児童館・児童クラブの安全管理における課題

課題1：不審者（刃物、声かけ等）の増加

- ・近年、児童を狙った不審者の発生が増加しており、学校や保護者、地域と連携した対応が必要となっている。

課題2：自然災害等の増加

- ・大雨、土砂災害等の気象災害を中心に自然災害が増加している。
- ・また、猛烈な暑さによる熱中症対策も必要となっている。

2. 児童館・児童クラブの安全管理における課題

課題3：職員による虐待等の不適切な行為等の発生

- 本市児童館における盗撮事案や、本市の企業主導型保育施設、静岡県裾野市の保育所などにおける不適切な保育等、全国の子どもへの支援の現場において、不適切な行為等が相次いで発生している。
- また、静岡県牧之原市において、認定こども園の送迎バスに置き去りにされた子どもが亡くなるという大変痛ましい事案も発生している。

3. 児童館・児童クラブの安全管理に係る方針案

【方針1】安全計画の策定、適切な実施、定期的な見直し

総合的な安全計画の策定、訓練・研修等の適切な実施、PDCAサイクルによる定期的な安全計画の見直し

- ・従来のマニュアルを見直し、児童の安全確保に関する取組と実施時期を整理の上、総合的な安全計画を策定する。
- ・災害の発生や不審者の侵入等を想定した実践的な訓練や研修の実施など、児童の安全確保に関する取組を適切に実施する。
- ・PDCAサイクルの観点から、定期的に安全計画の見直しを行うとともに、必要に応じ計画の変更を行う。
- ・毎年市が安全計画の内容や実施状況を確認するとともに、安全管理に関する研修の実施や、安全管理に関する好事例を運営団体に展開する。

3. 児童館・児童クラブの安全管理に係る方針案

【方針2】 児童対応に関する倫理・サービスセルフチェックの実施等

市独自の「児童対応に関する倫理・サービスチェックシート」（別添参考資料2）を活用したサービスセルフチェックの実施。安全計画への職員による児童の虐待等の禁止に係る内容の追加。

- ・職員自らのサービスのあり方や児童への接し方について、定期的に振り返る機会をもち、事件・事故の危機意識をもって業務を遂行することができるよう、児童対応に関する倫理・サービスセルフチェックを実施する。
- ・上記セルフチェックの実施については、安全計画にも盛り込み、毎年計画的に実施する。

3. 児童館・児童クラブの安全管理に係る方針案

【方針3】 防犯カメラの整備（骨子案より再掲）

児童の安全の確保のため、防犯カメラを順次設置する

- ・ 児童館・児童クラブの安全安心な利用のため、全館への防犯カメラの設置が必要であり、防犯カメラを児童館へ順次設置する。

【方針4】 全居室へのエアコン設置（骨子案より再掲）

今後大規模改修工事の機会も活かし、計画的に設置を行っていく。